

本学習指導案のポイント（高校教育指導課指導主事 松田 百合）

本学習指導案は、ライフプランの作成を通して、自分の将来、目標に向かうために必要な力を考えさせる内容である。生徒の自己開示を促すための工夫と、限られた時間内で試行錯誤させるための教材の工夫により、生徒の思考がより深まるものとなっている。また、互いのライフプランの紹介及び肯定的評価の交換により、多様な価値観を認め合うとともに新たな視点に気付かせるような展開となっている。

- 1 日 時 平成30年11月1日（木）6限目 14：25～15：15（50分）
- 2 学年・学科 第1学年 食品工学科 20名（男子9名・女子11名）
- 3 題材名 生涯を見通した生活設計
- 4 題材について

(1) 題材観

本題材は、高等学校学習指導要領家庭 科目「家庭基礎」（2）エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画を中心に、（2）カ 生涯の生活設計、（2）オ ライフスタイルと環境、（1）ア 青年期の自立と家族・家庭と関連づけて分野横断的な構成としている。

本題材を通して、「家庭生活」・「職業生活」の双方から、今後の人生設計に対する見通しを持たせるとともに、自分の理想のライフプランの実現に向けて家計管理を行うための金銭感覚を養うこと、持続可能な社会の形成に家庭生活での環境に配慮した取組が、密接につながることに気付かせることをねらいとしている。

本題材を学び終えた後には、生涯を見通した生活設計を具体的に描こうとする生徒の主体的な態度を育むことを目指す。

(2) 生徒観

食品工学科1年生の生徒に将来の希望進路を聞いたところ、「パティシエ（14.3%）」、「パン職人（14.3%）」など食品に関わる職業を挙げた生徒が多い一方で、「まだ決まっていない（42.9%）」と回答した生徒が半数近くみられた。

家庭基礎の授業の、家族・家庭分野についての学習では、「将来は結婚して子どもを持ちたい（84.2%）」という生徒が多くを占め、理想のライフプランがあることをうかがわせる。しかし、事前アンケートにおいて、家庭科の授業の中で「経済生活」分野に興味・関心があると回答した生徒は7.9%と消費経済への興味・関心は低く、自分らしく生きるためのライフプランの建設に必要な知識の習得には関心が低いといえる。

(3) 指導観

指導に当たっては、「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～（第一生命）」を導入に活用し、将来の生活設計に対する興味・関心を喚起させる。題材全体を通して、自分の考えと、他者との意見交流の場を設定することで、他者との価値観の違いに気付かせ、多様な価値観を深め合えるように導く。

また、今後の生活設計について見通しを持つための「私の人生年表」の作成に当たっては、主要なライフイベント（進学・就職・結婚・出産・住宅購入・車の購入）をあらかじめ決めさせることで、家庭生活と職業生活についてより具体的なイメージを生徒が持てるよう工夫する。これに基づき、実際に支出と収入を計算させる活動を通して、家計管理の重要性を体験的に気付かせたい。

5 題材の目標

自らのライフプランを考える活動を通して、生涯を見通した生活設計を行うために必要な知識や持続可能な社会形成のための知識、家計管理を行うための金銭感覚を身に付けるとともに、それらを活用して家庭生活と職業生活の双方の調和の実現を図った生活設計を主体的に考え、工夫することができるようにする。

6 題材の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
生涯を見通した生活設計を主体的に行っていくこうとする態度を身に付けている。	家庭生活と職業生活の両立を意識した自分の理想のライフプランや、その実現のための手立てを考え、表現できる。 また、持続可能な社会形成のための家庭生活における工夫を考案し、表現している。	ライフイベントでかかる費用から、支出と収入を計算し、家計管理を行うための金銭感覚を身に付けている。	生涯を見通した生活設計を行うために必要な知識や持続可能な社会形成についての知識を理解している。

7 指導と評価の計画（全6時間）

次	学習内容	関	思	技	知	評価規準	評価方法
1	あなたの人生これからどうなる？ ・ライフサイクルゲームⅡ（第一生命）で人生の模擬体験をする ・ゲームを通しての気づきを発表する ・消費者トラブルについて知る	◎			○	・生涯を見通した生活設計を主体的に行っていくこうとする態度を身に付けることができる。 ・消費者トラブルの対処法が説明できる。	観察 ワークシート 定期考査
2	「働く」ということ ・自分が働く上で重視したい条件に優先順位を付ける ・グループで交流し職業観の違いを知る ・有償労働と無償労働について知る		◎		○	・自分の職業観について思考を深めている。 ・有償労働と無償労働の違いを理解している。	観察 ワークシート 定期考査

3	自分らしく生きる（本時） ・人生のライフイベント（進学・就職・結婚・出産・住宅購入・車の購入）の選択をする ・「私の人生年表」を作成する	◎		・家庭生活と職業生活の両立を意識した自分の理想のライフプランや、その実現のための具体的な目標を考え、表現している。	観察 ワークシート
4	理想のライフプランの実現をめざして ・「私の人生年表」に基づいて支出と収入を計算する ・ライフプランの実現に向けて生涯の経済計画を立てる。	○	◎	・ライフイベントでかかる費用から、支出と収入を計算することができる。 ・理想のライフプランを実現させるための、計画的な資産運用を考えている。	ワークシート 定期考査
5	自立した人生を送ろう ・「自立」とはどのような状態を指すのかグループで話し合い発表する ・4つの自立について知る	◎	○	・自立の具体的なイメージを話し合い、意見をまとめている。 ・4つの自立を理解している。	観察 ワークシート 定期考査
6	持続可能な社会を創る ・SDGsについて知る ・「私の人生年表」に基づいて家庭生活の中で持続可能な社会を創り出す工夫を考え提案する	◎	○	・SDGsの目的と内容を理解している。 ・持続可能な社会形成のための家庭生活における工夫を考案し、表現している。	発表 ワークシート 定期考査

8 本時の展開

(1) 本時の目標

「私の人生年表」を作成する活動を通して、家庭生活と職業生活の双方の調和の実現を図り、自分の理想のライフプランを組み立て、その実現のための具体的な目標を表現することができる。

(2) 観点別評価規準

家庭生活と職業生活の両立を意識した自分の理想のライフプランや、その実現のための具体的な目標を考え、表現している。
【思考・判断・表現】

(3) 準備物

ワークシート、スクリーン、プロジェクター、パソコン、タイマー、付箋

(4) 学習の展開

分	学習活動	発問○、指導上の留意事項◆ 予想される生徒の反応・	評価規準 (評価方法)
導入 5分	1 ワーク・ライフ・バランスの復習	○仕事と生活の調和のことを何と言いましたか。 ・ワーク・ライフ・バランス ◆家庭生活と職業生活の双方を調和させる必要性を感じさせる	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>1 仕事と生活の調和を目指した理想のライフプランを立てよう！ 2 ライフプラン実現のための具体的な目標を考えよう！</p> </div>			
展開 35分	2 人生のライフイベントにおける選択をしてみる	○あなたは人生のライフイベントでどのような選択をしますか。 ◆ワークシートを用いて選択させる。 【選択するライフイベント】 進学・就職・結婚・出産・住宅購入・車の購入	家庭生活と職業生活の両立を意識した自分の理想のライフプランを表現している。【思考・判断・表現】(観察、ワークシート)
	3 「私の人生年表」を作成する	○自分の選択をもとに、「私の人生年表」を作ってみましょう。 ◆年表の具体例を提示する。 ◆ライフプランを立てる必要性に気付かせる声かけをする。	
	4 作成した年表を発表し、他者からアドバイスをもらう	○自分のライフプランを友達に紹介してみましょう。 ◆グループワーク（5分） ◆発表方法を指示する。 ◆発表を聞いて自分のライフプランに参考にしたいと思ったところを付箋に書かせ相手に渡すよう指示する。 <生徒の記述例> ・自分のお店を持つという夢があって素敵だと思った。 ・定年後に働くのも楽しそうだった。	
まとめ 10分	5 理想のライフプランを実現するための目標を考える	○自分の理想のライフプランを実現するために、今から身に付けた力、そのために取り組むことについて具体的な目標を立てよう。 ◆そのライフプラン実現に必要な要素（お金、時間、資格、能力など）について具体例を提示する。 ◆「お金」に焦点を当て、次時へのつながりを持たせる。 ◆感想を書かせる。	理想のライフプラン実現のための具体的な目標を考え、表現している。【思考・判断・表現】(ワークシート)